



企業対象に行っている英語研修風景

異文化間コミュニケーションの 橋渡し役として活躍したい

ローカル企業でもグローバルビジネスの中に飛び込まなくてはならない昨今、大きな障壁は言葉でしょう。今回は翻訳や通訳などの業務を通じて、企業が異文化とふれあうお手伝いをする株式会社ブリジックの木村由貴子社長に話をうかがいました。

(株)

ブリジックは平成26年に誕生したばかりの若い会社ですが、木村社長は翻訳・通訳業務に15年以上の経験を持っています。大学卒業後

キルを磨いていきました。

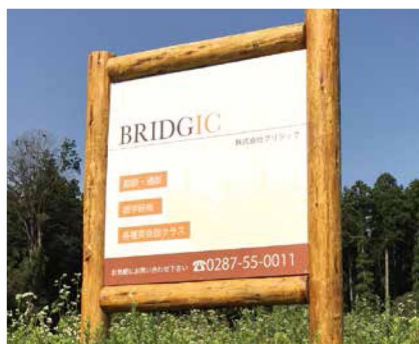
育ててくれた翻訳会社の社長の引退に合わせて、自らも「言葉や文化を通じて、より深く企業のお手伝いをしたい」と考え、独立開業をして、現在に至っています。

すかったことも、プラスだったそうです。

大学時代には、異文化間コミュニケーションを専攻していた木村さん。社名の由来も「単なる翻訳ではなく、言葉を通じた文化の橋渡し役になりたい」という気持ちがこめられているとのこと。



ビジネス文書の翻訳は同社事業の柱のひとつ



本社入口にある看板

経営理念

一步先へ

国境を、言葉を、
そして文化を超えて

Information

株式会社ブリジック
代表取締役 木村 由貴子
設立 / 平成26年10月
所在地 / 矢板市幸岡1373
☎ 0287-55-0011
☎ 0287-43-9134
http://bridgic.com



株式会社ブリジック
代表取締役 木村 由貴子 氏

問題でうまくいかないケースが、少なくありません。私どもでは、機械的な翻訳ではなく、文化的な背景も考慮した、ていねいな仕事を心がけています」

また翻訳だけではなく企業研修も手がけています。

「言語習得は個々人のスキルアップだけでなく企業力アップにも、重要です。また、研修の場や機会を提供することは、余暇の有効活用や企業の福利厚生にもつながります」

今後は、翻訳部門だけでなく研修部門にも力を入れ、より広い範囲の顧客サービスを実現し、企業が「一步先へ」進むお手伝いをしていきたい——そう、木村社長は考えています。